

令和 7 年度

全国高等学校進路指導協議会
理事会(総会)

令和 7 年 7 月 30 日(水)

国立オリンピック記念青少年総合センター
501号室

総 会 次 第

1 次第 (14:00～14:50)

- (1) 開 会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 議 案
 - ① 会則・規定の確認、旅費・助成金等規程の改定について …… P. 2～ 7
 - ② 全国進学指導研究大会規程について …… P. 8
 - ③ 令和6年度 事業報告 …… P. 9～10
 - ④ 令和6年度 会計報告 …… P. 11
令和6年度 会計監査報告
 - ⑤ 令和7年度 役員選出について …… P. 12
 - ⑥ 新役員(会長・副会長・監事)挨拶
 - ⑦ 令和7年度 事業計画(案)について …… P. 13
 - ⑧ 令和7年度 会議等日程(案)について …… P. 14
 - ⑨ 令和7年度 予算(案)について …… P. 15
 - ⑩ 令和7年度 第48回進路学習セミナーについて …… P. 16
- (5) 議長解任
- (6) 事務局より報告・連絡
 - ① 事務局等体制について …… P. 17
 - ② 日本進路指導協会 会長感謝状受賞者について
 - ③ 令和7年度新規高等学校卒業者就職問題連絡会議について …… P. 18
 - ④ 本協議会が主催・共催する大会等について
 - ・第73回進路指導・キャリア教育研究協議大会 全国大会について【共催】
(日本進路指導協会主催)
令和7年7月31日(木)～8月1日(金)
国立オリンピック記念青少年総合センター
 - ・全国進学指導研究大会について
第31回 山口大会(中国ブロック)
令和7年10月2日(木)・3日(金)
山口県・海峡メッセ下関
【山口県下関市豊前田町3丁目3-1】
 - 第32回 長野大会(北信越ブロック)
令和8年10月15日(木)・16日(金)
長野県・長野市若里市民文化ホール
【長野県長野市若里3丁目2-2】
 - ・第48回進路学習セミナー
令和8年3月27日(金)【26日(木)リハーサル】 予定
 - ⑤ 全国大会・進路学習セミナー発表について …… P. 19
 - ⑥ 第47回進路学習セミナー・アンケート【集計結果】 …… P. 20～21
 - ⑦ 大学・短期大学 総合型選抜および学校型推薦型選抜における事例の調査【総括】 …… P. 21
 - ⑧ 全高進 ホームページ 都道府県ページについて …… P. 22
- (7) 閉 会

2 総会終了後 レクチャー (15:00～16:00)

『令和8年度大学入学共通テストについて』

独立行政法人 大学入試センター

事業部長

事業部 事業第一課 参事

金 郁 夫 様

川岸 哲也 様

全国高等学校進路指導協議会 会則

第1章 総 則

第1条（名称）

本会は全国高等学校進路指導協議会と称する。

第2条（目的）

本会は全国の高等学校における進路指導に関する連絡調整・研究協議を行い、教育の充実発展に資することを目的とする。

第2章 事 業

第3条（事業）

本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 進路指導に関する情報の交換、連絡調整。
- (2) 進路指導に関する研究調査及び研究発表会・研究及び出版。
- (3) 関係各種機関（諸官庁・公共職業安定所・経済諸団体・各種団体・各事業所・中学校・専門学校・短大・大学・校長会等）との連携。
- (4) その他必要と認めた事項。

第3章 組 織

第4条（会員）

本会の会員は、本会の趣旨に賛同する全国の高等学校をもって組織する。

第5条（組織）

本会の組織は、全国を北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州および東京の10ブロックに分ける。

第4章 役 員

第6条（役員）

本会に次の役員を置く。

会長…1名 副会長…原則として11名 理事…原則として各都道府県2名
常任理事…各ブロック2名 監事…2名 顧問…若干名

第7条（役員の任務）

役員の任務は次の通りとする。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括し、理事会の決定に基づき副会長・理事・常任理事及び監事を委嘱する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその職務を代行する。
- (3) 理事は本会の基本方針を審議決定する。
- (4) 常任理事は本会の事業の企画・立案およびその他の重要事項を審議し、その運営にあたる。
- (5) 監事は会計を監査する。
- (6) 顧問は本会の相談役であり、議決権を持たない。

第8条（役員の選出）

役員の選出は次の通りとする。

- (1) 会長・副会長は常任理事会で推薦し、理事会で決定する。
副会長は原則として各ブロック会長および私学より1名とする。
また、必要に応じて増員することができる。
- (2) 理事は、原則として、各都道府県より選出された各都道府県会長および事務局長とする。
- (3) 常任理事は、原則として、各ブロックより選出された各ブロック会長および事務局長とする。
- (4) 監事は理事会において選出する。
- (5) 顧問は原則として本会の歴代の会長とし、常任理事会の推薦を得て理事会の承認を必要とする。

第9条（役員の任期）

役員の任期は1年間とする。ただし、再任を妨げない。

第5章 会 議

第10条（会議）

本会を運営するために、次の会議を開く。

- (1) 理事会（総会）は、原則として年1回会長が招集する。
- (2) 常任理事会は、必要に応じて開催する。
- (3) その他の会を、必要に応じて開催することができる。

第6章 事 務 局

第11条（事務局）

本会の事務局は、原則として、会長勤務校に置き、会務を処理する。

第12条（事務局細則）

事務局に関する細則は事務局規定として別に定める。

第7章 会 計

第13条（経費）

本会の経費は会費・事業費その他の収入をもってこれに充てる。

第14条（会費）

本会の会費は年額、1校につき300円とする。

第15条（会計年度）

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第16条（経理細則）

本会の経理に関する細則は経理規定として別に定める。

第8章 改 正

第17条（改正）

本会の会則の改正は、総会において出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

附 則 本会則は平成2年4月1日を以て施行する。

平成3年7月30日 一部改正

令和6年7月24日 一部改正

全国高等学校進路指導協議会 事務局 規定

第1条（目的）

本規定は全国高等学校進路指導協議会会則第6章第12条に基づき、事務局についての細則を定めたものである。

第2条（事務局）

本会の事務局は原則として会長勤務校に置くものとする。

第3条（構成）

事務局は事務局長、事務局次長、幹事及び顧問を以て構成する。

第4条（選出）

- (1) 事務局長、事務局次長は、常任理事会の推薦を得て会長が委嘱する。
- (2) 幹事は会長が委嘱する。
- (3) 顧問は原則として本会の歴代の会長、事務局長とし、常任理事会の推薦を得て理事会の承認を必要とする。
- (4) 臨時の幹事は原則として事務局長が推薦し会長が委嘱する。

第5条（職務）

- (1) 事務局長は会長の命により通常の事務の統括をする。
- (2) 事務局次長は事務局長を補佐し、事務局長の代行をすることができる。
- (3) 幹事は事務に従事する。
- (4) 幹事は別に定める経理規定に基づいて本会の経理に関する事務に従事する。
- (5) 顧問は本会の相談役とする。

第6条（会議）

- (1) 定例の会議は次のものがあり、会議の運営のための準備は事務局があたるものとする。
 1. 理事会（総会）
 2. 全国大会
 3. 進路学習セミナー
- (2) 必要に応じて開かれる会議として次のものがあり、会議の運営のための準備は事務局があたるものとする。
 1. 全国ブロック代表校長会
 2. 常任理事会
 3. 全国ブロック事務局長会
 4. その他必要と認められる会議
- (3) 必要に応じて各行事の実行委員会を置くことができる。

附 則 本規定は平成2年4月1日を以て施行する。

平成4年7月28日 一部改正

平成8年7月31日 一部改正

平成29年6月10日 一部改正

全国高等学校進路指導協議会 経理 規定

第1条（目的）

本規定は全国高等学校進路指導協議会会則第7章、第16条に基づき経理に関する細則を定めたものである。

第2条（適用範囲）

本会の会計は年度会費、助成金等によって構成し、その経理事務はこの規定の定めるところによる。

第3条（事業年度）

本会の事業年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第4条（帳簿等）

事務局は予算及び会計に関する帳簿、及び伝票等必要な書類を備え、所要の事項を整然かつ明瞭に記録するものとする。

第5条（予算の統括）

予算に関する事務は会長が統括する。

第6条（経理責任者）

経理責任者は事務局長とする。

第7条（事業計画・収支予算の作成）

本会の次年度事業計画及び収支予算は、理事会（総会）の承認を得ることとする。

第8条（出納の管理）

金銭の出納は会計伝票に基づいて行い、支払いに際しての領収書は保管するものとする。

第9条（決算書類の作成）

経理責任者（事務局長）は毎年事業年度終了後、速やかに当該事業年度末における会計の収支について計算を行い、決算書類を作成するものとする。

第10条（監査）

- (1) 監査については前条の整理を行い決算終了後、監事の監査を受けるものとする。
- (2) 監事は帳簿・伝票類・銀行預金残高及び前項の計算書類等について、監査し報告書を提出するものとする。

第11条（事業報告・決算承認）

収支決算と監査の結果については事業報告とともに理事会（総会）の承認を得るものとする。

第12条（出張経費等）

役員及び事務局長等の出張旅費は全国高等学校進路指導協議会の旅費規程によるものとする。

附 則 本規定は平成2年4月1日を以て施行する。

平成29年6月10日 一部改正

旅費・助成金等規程(案)

1 交通費

- (1) 本会を運営するために役員(会長・事務局長・事務局次長・幹事等)が、本会主催の会合等に参加するための交通費の実費を支給する。
委嘱された各委員会の委員が、本会が行う委員会等に参加するための交通費の実費を支給する。
- (2) 常任理事会(年2回)に参加するブロック会長・ブロック事務局長が、開催する場所までの交通費が最安ルートで往復4万円を超える場合は、交通費補助金を支給する。
その際の金額は、開催する場所までの最安ルート交通費から4万円を超えた金額とする。

2 助成等

- (1) 地区協議会助成金
~~各ブロック(東京ブロックを除く)について、毎年6万円の額を地区協議会に助成する。~~
全国代表校長会・第1回ブロック事務局長会での承認を得て、以下の助成を行う。
 - ① 各ブロック(東京ブロックを除く)について、毎年6万円の額の助成を行う。
 - ② ①とは別に会計状況から会長が配分額を決め、以下に従い地区助成を行う。
 - ア 前年度の会員校数が300校を下回る場合は、1万円の助成を行う。
 - イ 追加で地区助成を行える場合は、追加助成額からアを差し引いた金額を、前年度の会員校数に比例して算出しその額の追加助成を行う。(東京ブロックを除く)
 - ウ ②の助成額は少なくとも(ア)の助成を行う地区の最少額とする。(東京ブロックを除く)
- (2) 研究助成金
進路学習に関する研究を行い、進路学習セミナーで発表する学校に対し研究助成を行う。
助成額は2万円とし、発表の前年度に助成する。
- (3) 全国進学指導研究大会助成金
全国進学指導研究大会の助成をする。助成は開催前年度に2015万円助成する。

補足

上記の助成の開始年度は次の通りとする。

地区協議会助成金

令和8年度からとする。令和7年度までは毎年10万円を助成する。

令和5年6月10日 改正

令和7年〇月〇日 改正

【資料】

旅費・助成金等規程を変更した場合の地区協議会助成金シミュレーション
(追加地区助成金を令和6年度会員校数で算出した場合例)

	固定助成金		変動助成金		(5)+(6)		
	地区助成金 ①	会員校数②	会員校数が300校 を下回る地区の 助成金③	配分金額 ④=⑩×②	地区助成金額 ⑤=①+③+④	300校以下 地区助成金	地区助成金 の合計金額
北海道ブロック	60,000	288	10,000	12,000	82,000	82,000	82,000
東北ブロック	60,000	427	0	17,000	77,000		77,000
関東ブロック	60,000	809	0	32,000	92,000		92,000
東京ブロック	0	0	10,000	0	10,000		10,000
北信越ブロック	60,000	347	0	14,000	74,000	3,000	77,000
東海ブロック	60,000	474	0	19,000	79,000	0	79,000
近畿ブロック	60,000	731	0	29,000	89,000	0	89,000
中国ブロック	60,000	350	0	14,000	74,000	3,000	77,000
四国ブロック	60,000	169	10,000	7,000	77,000	0	77,000
九州ブロック	60,000	625	0	25,000	85,000	0	85,000
合 計	540,000	⑦ 4,220	⑧ 30,000	169,000	739,000		745,000

配分金額は100円未満四捨五入

77,000
助成最少額

⑨	分配金	200,000
⑩	配分率 (⑨－⑧)÷⑦	40

2 助成等

(1) 地区協議会助成金

全国代表校長会・第1回ブロック事務局長会での承認を得て、以下の助成を行う。

- ① 各ブロック（東京ブロックを除く）について、毎年6万円の額の助成を行う。
- ② ①とは別に会計状況から会長が配分額を決め、以下に従い地区助成を行う。
 - (ア) 前年度の会員校数が300校を下回る場合は、1万円の助成を行う。
 - (イ) 追加で地区助成を行える場合は、追加助成額から ア を差し引いた金額を、前年度の会員校数に比例して算出しその額の追加助成を行う。
 - (ウ) ②の助成額は少なくとも(ア)の助成を行う地区の最少額とする。（東京ブロックを除く）

全国高等学校進路指導協議会 助成金の推移について

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地区助成金	10万円×9 【900,000円】	10万円×9 【900,000円】	6万円×9+α (仮に+αを20万で計上) 【740,000円】	6万円×9+α (仮に+αを20万で計上) 【740,000円】
進路学習助成金 (発表内容) 【発表地区】	10万円×1校(教材) 2万円×3校(取組) (東北)・(東海)・ 四国・(北海道) ※()は済	2万円×3校 【60,000円】 学校の取組	2万円×3校 【60,000円】 学校の取組	2万円×3校 【60,000円】 学校の取組
全進研大会助成金 (助成地区) 【開催地区】	北海道(10万円) (10万円×2年間の2年目) 中国(15万円) 【350,000円】 北海道・中国 北海道	±20万円×1年間 +中国に追加5万円 【250,000円】 中国(5万)・北信越 中国	20万円×1年間 【200,000円】 四国 北信越	20万円×1年間 【200,000円】 関東 四国

全国進学指導研究大会規程

(目 的)

第1条

全国進学指導研究大会（以下大会という）は、望ましい上級学校への進学指導の在り方を研究し、その普及と発展を図ることを目的とする。この目的を達成するため、全国高等学校進路指導協議会（以下全高進という）は大会開催の援助を行う。

(開催地の選定)

第2条

原則として年1回、各地区単位で開催する。ただし、同一年複数地区・同一地区での連続開催については常任理事会で協議の上決定する。

(大会の主催)

第3条

大会の主催は、全高進と開催地区の共催とする。

開催の後援依頼および報告は、文部科学省および全国高等学校長協会には全高進が行い、教育委員会等には開催地区が行う。

その他の共催及び後援についてはあらかじめ全高進と開催地区が協議する。

(開催の決定及び通知)

第4条

原則として常任理事会で決定し通知する。

(助成金)

第5条

全高進は開催地区に助成を行う。

(会計報告)

第6条

開催地区は、大会終了後速やかに全高進の事務局に会計報告をする。

(実施に関して必要事項)

第7条

この大会に際して必要な事項は別に定める。

附 則 本会則は令和6年4月1日に「大学進学指導研究大会規程」の改正を以て施行する。

今までの開催地区

1995年	第1回大会	神奈川	2010年	第16回大会	関東(千葉)
1996年	第2回大会	東京	2011年	第17回大会	近畿(大阪)
1997年	第3回大会	東京	2012年	第18回大会	九州(福岡)
1998年	第4回大会	東京(全国大会)	2013年	第19回大会	東海(静岡)
1999年	第5回大会	近畿(大阪)	2014年	第20回大会	東北(宮城)
2000年	第6回大会	東京(全国大会)	2015年	第21回大会	北海道
2001年	第7回大会	東京	2016年	第22回大会	中国(岡山)
2002年	第8回大会	近畿(京都)	2017年	第23回大会	北信越(富山)
2003年	第9回大会	九州(福岡)	2018年	第24回大会	四国(香川)
2004年	第10回大会	東海(愛知)	2019年	第25回大会	関東(茨城)
2005年	第11回大会	東北(宮城)	2020年	第26回大会	近畿(兵庫)中止
2006年	第12回大会	北海道	2021年	第27回大会	九州(宮崎)
2007年	第13回大会	中国(広島)	2022年	第28回大会	東海(岐阜)
2008年	第14回大会	北信越(新潟)	2023年	第29回大会	東北(岩手)
2009年	第15回大会	四国(愛媛)	2024年	第30回大会	北海道

開催順序： 北海道→中国→北信越→四国→関東→近畿→九州→東海→東北→北海道

令和6年度 事業報告

◆常任理事会・事務局長会等

令和6年4月27日（土）	全国ブロック事務局長会・全国代表校長会（会長会） 合同開催【オンライン開催】
令和6年6月7日（金） 8日（土）	全国常任理事会【6月7日…浅草文化観光センター 大会議室】 【6月8日…都立上野高等学校】
令和6年7月24日（水）	全高進理事会（総会）【国立オリンピック記念青少年総合センター】
令和6年10月19日（土）	全国ブロック事務局長会【オンライン開催】
令和6年11月30日（土）	全国常任理事会【都立上野高等学校】
令和7年2月7日（金）	新規高校卒業者就職問題連絡会議【厚生労働省】

◆主催・共催大会

令和6年7月25日（木）～26日（金） 【国立オリンピック記念青少年総合センター】	第72回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会 第48回全国高等学校進路指導研究協議大会
令和6年9月19日（木）～20日（金） 【北海商科大学(北海道)】	第30回全国進学指導研究大会【北海道大会】
令和7年3月27日（木） 【オンライン開催】	第47回進路学習セミナー 【3月26日(水) 発表者リハーサル】

◆研究委員会

令和6年8月	就職指導研究委員会 【メールにて実施】
令和6年9月～令和7年3月	進学指導研究委員会 【メールなどにて数回実施】
令和7年1月6日(月)	就職指導研究委員会 於 埼玉県立浦和商業高等学校

「令和6年度事業計画」検証

- (1) 「全高進会則」に基づく組織の活性化
全国組織を生かし「全高進会則」に基づいて組織の活性化を図る。また、組織の運営の合理化、財政と経理事務の健全化、全国ブロックの活動の支援等。
- (2) 進路指導関係諸団体との連携・協力の強化
「進路指導・キャリア教育研究協議全国大会」日本進路指導協会主催、日本キャリア教育学会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会との共催。進路指導に関する研究協力活動の強化、役員の相互派遣等。
- (3) 進路学習の研究とキャリア教育の推進
「進路学習研究委員会」の組織の活性化。ホームルーム活動や「総合的な探究の時間」、「産業社会と人間」等における進路学習の研究。全国の高等学校等の進路学習の活性およびキャリア教育の推進を図ることをめざし努める。
- (4) 進学指導に関する諸問題の検討
「進学指導研究委員会」の組織の活性化。
大学・短期大学進学に関する諸問題に対し、研究を進める。
専修学校・各種学校等への進学指導の在り方、接続についての諸問題を研究する。
専修学校・各種学校等についての検討を行う。
- (5) 第30回(記念大会)全国進学指導大会(北海道大会)の開催
令和6年9月19日(木)～20日(金)
於 北海商科大学(北海道)
- (6) 就職に関する問題
「就職指導研究委員会」の組織の活性化と研究成果の普及・発展。就職動向に関する調査研究。文部科学省・厚生労働省・各地域関係機関との連携強化等。
- (7) 第72回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会の実施
(第48回全国高等学校進路指導研究協議大会)
令和6年7月25日(木)～7月26日(金)
於 国立オリンピック記念青少年総合センター
- (8) 第47回進路学習セミナーの開催
令和7年3月27日(木) 【発表者リハーサル 26日(水)】
- (9) 関係機関・組織との連携の強化
文部科学省、厚生労働省、経済産業省、都道府県教育委員会、都道府県労働局、各地区ハローワーク、全国高等学校長協会、大学入試センター、大学基準協会、大学改革支援・学位授与機構等との連携の強化。
- (10) キャリアパスポートの研究
新学習指導要領で求められる義務教育におけるキャリア教育をつなぐ進路指導の在り方の検討。キャリアパスポートの状況調査等。

令和6年度 会計決算書

全国高等学校進路指導協議会

【一般会計】

収入総額 ¥7,244,071
 支出総額 ¥1,796,488
 収支差額 ¥5,447,583 (令和7年度へ繰越)

収入の部

予 算 科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
会 費	1,276,500	1,266,000	▲ 10,500	300円×4,220校(前年度4,255校)
雑 収 入	45	2,616	2,571	預金利息
前 年 度 繰 越 金	5,975,455	5,975,455	0	
合 計	7,252,000	7,244,071	▲ 7,929	

支出の部

予 算 科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
事 業 費	3,500,000	1,594,771	1,905,229	
大 会 補 助 金	1,000,000	483,078	516,922	
全 国 協 議 大 会	350,000	167,720	182,280	会場使用料、分担金、講師謝金等
進 路 学 習 セ ミ ナ ー	300,000	58,918	241,082	講師謝金、開催諸費用等
全国進学指導研究大会	350,000	256,440	93,560	令和6年度北海道ﾌﾟﾛｸﾞ(10万)、大会参加費、令和7年度中国ﾌﾟﾛｸﾞ(15万)
研 究 事 業 費	500,000	81,100	418,900	進路学習研究助成
進 学 指 導 研 究 委 員 会	100,000	0	100,000	
就 職 指 導 研 究 委 員 会	100,000	17,578	82,422	1 月 開 催 交 通 費 等
イ ン タ ー ネット 運 営 費	200,000	0	200,000	ネット契約、回線使用料 ※数年契約のため今年度は支払いなし
進 路 学 習 研 究 委 員 会	100,000	0	100,000	
地 区 協 議 会 助 成 金	1,500,000	1,013,015	486,985	地区助成金(10万×9ﾌﾟﾛｸﾞ)
会 議 費	150,000	76,058	73,942	Webex年間契約料等
渉 外 費	10,000	0	10,000	
事 務 費	550,000	125,659	424,341	
通 信 連 絡 費	150,000	1,604	148,396	連絡郵券、荷物送料
消 耗 品 費	100,000	0	100,000	事務用品、封筒代金
連 絡 交 通 費	300,000	124,055	175,945	役員交通費等、全進研大会参加に伴う交通費・参加費(会長・事務局長)
事 務 局 会 議 費	0	0	0	
事 業 積 立 金	2,000,000	0	2,000,000	※令和7年度の50周年予算へ移行 定期預金への繰入見送り
予 備 費	1,042,000	0	1,042,000	
合 計	7,252,000	1,796,488	5,455,512	

【特別会計】

〔総括〕 収入総額 ¥5,562,509
 支出総額 ¥0
 繰越額 ¥5,562,509 (令和7年度へ繰越)

収入の部

予 算 科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
積 立 金	2,000,000	0	▲ 2,000,000	※令和7年度の50周年予算へ移行 定期預金への繰入見送り
雑 収 入	86	95	9	預金利息他
前 年 度 繰 越 金	5,562,414	5,562,414	0	
合 計	7,562,500	5,562,509	▲ 1,999,991	

支出の部

予 算 科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
行 事 支 出	0	0	0	
積 立 金 取 崩	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
合 計	0	0	0	

繰越の部

予 算 科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
積 立 繰 越 金	7,562,500	5,562,509	▲ 1,999,991	

上記のように会計報告します。

令和7年3月31日
 会 長 吉田 寿美
 事務局長 福本 剛史

上記の会計について、監査の結果、適正に処理されていたことを認めます。

令和7年3月31日
 会計監査 中山 望
 会計監査 小山 克之

令和7年度 全国高等学校進路指導協議会役員等体制について(案)

【敬称略】

会 長 吉田 寿美 (東京都立調布北高等学校 校長)

副 会 長【常任理事】

(北海道ブロック)	諸橋 宏明 (北海道札幌工業高等学校 校長)
(東北ブロック)☆	川村 高広 (宮城県泉松陵高等学校 校長)
(関東ブロック)	為成 雄司 (神奈川県立茅ヶ崎高等学校 校長)
(東京ブロック)	杉森 共和 (東京都立日本橋高等学校 校長)
(北信越ブロック)☆	西田 昌弘 (福井県立敦賀工業高等学校 校長)
(東海ブロック)☆	小川 浩司 (愛知県立愛知商業高等学校 校長)
(近畿ブロック)	荒田 和子 (京都府立向陽高等学校 校長)
(中国ブロック)☆	渡邊 勝義 (島根県立島根中央高等学校 校長)
(四国ブロック)☆	馬場 文彦 (香川県立志度高等学校 校長)
(九州ブロック)☆	緒方 康二 (佐賀県立佐賀商業高等学校 校長)
(私 学)	橋本 準一 (大東文化大学第一高等学校長)
(会 副 会 長)	松田 晴美 (東京都立杉並高等学校 校長)

監 事 中 山 望 (埼玉県立浦和商業高等学校 校長)

監 事 小山 克之 (東京都立足立高等学校 校長)

☆印の方は今年度から参加される方です

ブロック事務局長【常任理事】

(北海道ブロック)	梶 邦明 (北海道札幌工業高等学校)
(東北ブロック)☆	渡 邊 武 (宮城県泉松陵高等学校)
(関東ブロック)	並木 俊恭 (神奈川県立希望ヶ丘高等学校)
(東京ブロック)	多田早穂子 (東京都立小台橋高等学校)
(北信越ブロック)☆	田中 逸郎 (福井県立敦賀工業高等学校)
(東海ブロック)	三谷 祐二 (愛知県立愛知商業高等学校)
(近畿ブロック)	牧崎 高德 (京都府立京都すばる高等学校)
(中国ブロック)☆	佐 野 剛 (島根県立島根中央高等学校)
(四国ブロック)☆	眞鍋 祥江 (香川県立志度高等学校)
(九州ブロック)☆	徳永 清成 (佐賀県立佐賀商業高等学校)

☆印の方は今年度から参加される方です

顧	問	森 郁 郎 (元 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	萩原 信一 (元 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	豊田 岩男 (元 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	藤井 文雄 (元 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	間瀬 友典 (元 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	星野 文男 (元 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	長津 美明 (元 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	野口 敏朗 (元 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	池田 豊信 (元 全国高等学校進路指導協議会 事務局長)
顧	問	竹 内 章 (元 全国高等学校進路指導協議会 事務局長)
顧	問	笹 のぶえ (前 全国高等学校進路指導協議会 会長)
顧	問	千葉 吉裕 (元 全国高等学校進路指導協議会 事務局長)
顧	問	大木 正臣 (前 全国高等学校進路指導協議会 事務局長)

「令和7年度事業計画」(案)

- (1) 「全高進会則」に基づく組織の活性化
全国組織を生かし「全高進会則」に基づいて組織の活性化を図る。また、組織の運営の合理化、財政と経理事務の健全化、全国ブロックの活動の支援等。
- (2) 進路指導関係諸団体との連携・協力の強化
「進路指導・キャリア教育研究協議全国大会」日本進路指導協会主催、日本キャリア教育学会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会との共催。進路指導に関する研究協力活動の強化、役員の相互派遣等。
- (3) 進路学習の研究とキャリア教育の推進
「進路学習研究委員会」の組織の活性化。ホームルーム活動や「総合的な探究の時間」、「産業社会と人間」等における進路学習の研究。全国の高等学校等の進路学習の活性およびキャリア教育の推進を図ることをめざし努める。
- (4) 進学指導に関する諸問題の検討
「進学指導研究委員会」の組織の活性化。
大学・短期大学進学に関する諸問題に対し、研究を進める。
専修学校・各種学校等への進学指導の在り方、接続についての諸問題を研究する。
専修学校・各種学校等についての検討を行う。
- (5) 第31回全国進学指導大会(中国大会)の開催
令和7年10月2日(木)～3日(金)
於 海峡メッセ下関(山口県)
- (6) 就職に関する問題
「就職指導研究委員会」の組織の活性化と研究成果の普及・発展。就職動向に関する調査研究。文部科学省・厚生労働省・各地域関係機関との連携強化等。
- (7) 第73回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会の実施
(第49回全国高等学校進路指導研究協議大会)
令和7年7月31日(木)～8月1日(金)
於 国立オリンピック記念青少年総合センター
- (8) 第48回進路学習セミナーの開催
令和8年3月27日(金) 【発表者リハーサル 26日(木)】
- (9) 関係機関・組織との連携の強化
文部科学省、厚生労働省、経済産業省、都道府県教育委員会、都道府県労働局、各地区ハローワーク、公益財団法人日本進路指導協会、全国高等学校長協会、独立行政法人大学入試センター、公益財団法人大学基準協会、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 等との連携の強化。
- (10) キャリアパスポートの研究
学習指導要領で求められる義務教育におけるキャリア教育をつなぐ進路指導の在り方の検討。キャリアパスポートの状況調査等。

認証評価機関一覧(機関別)

文部科学省 高等教育局高等教育企画課 資料

(令和6年4月1日現在)

参考資料

認証評価機関	評価の対象	認証日
公益財団法人大学基準協会 (※公益財団法人大学基準協会ホームページへリンク)	大学 短期大学・専門職短期大学	平成16年8月31日 平成19年1月25日
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 (※独立行政法人大学改革支援・学位授与機構ホームページへリンク)	大学 高等専門学校	平成17年1月14日 平成17年7月12日
一般財団法人大学・短期大学基準協会 (※一般財団法人大学・短期大学基準協会ホームページへリンク)	大学 短期大学・専門職短期大学	令和2年3月30日 平成17年1月14日
公益財団法人日本高等教育評価機構 (※公益財団法人日本高等教育評価機構ホームページへリンク)	大学 短期大学・専門職短期大学	平成17年7月12日 平成21年9月4日
一般財団法人大学教育質保証・評価センター (※一般財団法人大学教育質保証・評価センターホームページへリンク)	大学	令和元年8月21日

令和7年度 会議等日程について(案)

会議・大会名	令和7年度	令和6年度
第1回 ブロック事務局長会 ▲	合同会議	合同会議
全国代表校長会(会長会) ●	4/26(土) 9:30～ (オンライン開催)	4/27(土) 9:30～ (オンライン開催)
第1回 常任理事会 ●▲	6/6(金) 14:00～【時間提案】 (浅草文化観光センター 大会議室 本会議) 7(土) 10:00～【時間提案】 (都立調布北高等学校)	6/7(金) 13:30～ (浅草文化観光センター 大会議室 講演会) 8(土) 9:30～ (都立上野高校)
理事会(総会) ●▲ (都府県会長・事務局長も参加)	7/30(水) 14:00～ (国立オリンピック記念 青少年総合センター)	7/24(水) 14:00～ (国立オリンピック記念 青少年総合センター)
進路指導・キャリア教育研究協議 ○△ 全国大会 【日本進路指導協会主催】 [全高進は共催]	第73回 7/31(木) 9:40～ 8/1(金) 9:30～ (国立オリンピック記念 青少年総合センター)	第72回 7/25(木) 9:40～ 26(金) 9:30～ (国立オリンピック記念 青少年総合センター)
全国進学指導研究大会 ○△	第31回 10/2(木) 13:00～17:00 3(金) 9:00～12:30 【山口県・海峡メッセ下関】	第30回(記念大会) 9/19(木) 13:00～17:00 20(金) 9:00～12:30 【北海道・北海商科大学】
第2回 ブロック事務局長会 ▲	10/11(土) 9:30～ (オンライン開催)	10/19(土) 9:30～ (オンライン開催)
第2回 常任理事会 ●▲	11/29(土) 12:30～ (都立晴海総合高校 予定)	11/30(土) 12:30～ (都立上野高校)
新規高等学校卒業生就職問題 ▲ 連絡会議 (都道府県から代表者1名) 【厚生労働省主催】 (旅費は厚生労働省が負担)	2/6(金) 13:30～ (日付、時間ともに予定) (未定) ※実施形態について協議予定	2/7(金) 13:30～ (中央合同庁舎5号館 専用第15会議室)
進路学習セミナー ○△	第48回 3/27(金) 9:00～ 【26(木) リハーサル】 (オンライン開催)	第47回 3/27(木) 9:00～ 【26(水) リハーサル】 (オンライン開催)

●：ブロック会長参加 ▲：ブロック事務局長参加 ※ 日程の太字は対面・細字はオンラインを表す
○：ブロック会長任意参加 △：ブロック事務局長任意参加

※ 現段階の予定です。状況により開催方法・日程・時間など変更になる場合があります。
その場合はメールなどにより連絡させていただきます。よろしくお願いします。

令和4年度からの変更点

- ① ブロック事務局長会と全国代表校長会(会長会)はオンラインでの開催とする。
- ② 進路学習セミナーはオンライン形式の1日開催とする。

令和5年度から第1回事務局長会議と全国代表校長会(会長会)の同時開催

令和元年度まで両会議とも対面形式で実施してきた。会長会是全国高等学校長協会主催「総会・研究協議会」終了後に開催をしてきた。現在、両会議はオンラインでの開催で行っており同時に開催し説明を行った方がブロック会長と事務局長が一度に情報共有できることから合同開催とする。

令和7年度 会計予算書(案)

全国高等学校進路指導協議会

【一般会計】

〔総括〕 収入総額 ¥6,715,500
支出総額 ¥6,715,500

収入の部

予 算 科 目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
会 費	1,266,000	1,276,500	▲ 10,500	300円×4,220校(令和6年度実績)
雑 収 入	1,917	45	1,872	預金利息
前 年 度 繰 越 金	5,447,583	5,975,455	▲ 527,872	
合 計	6,715,500	7,252,000	▲ 536,500	

支出の部

予 算 科 目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
事 業 費	3,200,000	3,500,000	▲ 300,000	
大 会 補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	
全 国 協 議 大 会	350,000	350,000	0	会場使用料、分担金、講師謝金など
進 路 学 習 セ ミ ナ ー	300,000	300,000	0	講師謝金、開催諸費用等
全 国 進 学 指 導 研 究 大 会	350,000	350,000	0	研究大会助成金
研 究 事 業 費	200,000	500,000	▲ 300,000	進路学習研究助成
進 学 指 導 研 究 委 員 会	100,000	100,000	0	研究委員会費
就 職 指 導 研 究 委 員 会	100,000	100,000	0	研究委員会費
イ ン タ ー ネ ッ ト 運 営 費	200,000	200,000	0	ネット契約、回線使用料
進 路 学 習 研 究 委 員 会	100,000	100,000	0	研究委員会費
地 区 協 議 会 助 成 金	1,500,000	1,500,000	0	地区助成金(10万×97ヶ所)、交通費補助
会 議 費	150,000	150,000	0	Webexライセンス使用料、各種会議費等
渉 外 費	10,000	10,000	0	渉外経費
事 務 費	550,000	550,000	0	
通 信 連 絡 費	150,000	150,000	0	連絡郵券、荷物送料等
消 耗 品 費	100,000	100,000	0	事務用品等
連 絡 交 通 費	300,000	300,000	0	役員交通費、全進研大会参加に伴う経費(会長・事務局長)等
事 業 会 計 費	2,500,000	2,000,000	500,000	50周年記念事業会計へ
予 備 費	305,500	1,042,000	▲ 736,500	
合 計	6,715,500	7,252,000	▲ 536,500	

【特別会計】

〔総括〕 収入総額 ¥5,563,000
支出総額 ¥0
繰越予定額 ¥5,563,000

収入の部

予 算 科 目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
積 立 金	0	2,000,000	▲ 2,000,000	一般会計から
雑 収 入	491	86	405	預金利息等
前 年 度 繰 越 金	5,562,509	5,562,414	95	
合 計	5,563,000	7,562,500	▲ 1,999,500	

支出の部

予 算 科 目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
行 事 支 出 等	0	0	0	
積 立 金 取 崩	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
合 計	0	0	0	

繰越の部

予 算 科 目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
積 立 繰 越 金	5,563,000	7,562,500	▲ 1,999,500	

【50周年記念事業会計】(令和7年度～令和8年度)

〔総括〕 収入総額 ¥2,750,000
支出総額 ¥2,750,000

収入の部

予 算 科 目	予算額	摘 要
一 般 会 計 か ら 組 入	2,500,000	50周年事業費として一般会計から組入
50周年式典会参加費	250,000	5,000円×50人
合 計	2,750,000	

支出の部

予 算 科 目	予算額	摘 要
記 念 誌 発 行 費	1,500,000	記念誌印刷費・資料費等
記 念 式 典 会 費	400,000	会場費・運営費等
記 念 講 演 費	500,000	大会(高校分科会)で記念講演実施に伴う講演料
委 員 会 費	100,000	運営・実行委員会開催に伴う費用
経 費	200,000	通信費・消耗品費等
予 備 費	50,000	
合 計	2,750,000	

※ 全高進の総会は7月30日(水)に実施します。
上記の予算書は総会で議決された後に正式なものとなります。

現段階(案)

全高進発第
令和 7 年 1 2 月 号

各 国 公 私 立 高 等 学 校 長 殿
各 国 公 私 立 大 学 長 殿

全国高等学校進路指導協議会
会 長 吉 田 寿 美
(東京都立調布北高等学校長)
(公 印 省 略)

第 4 8 回進路学習セミナー 開催案内

各校におかれましては平素より本協議会の活動につきまして、御理解・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて「進路学習セミナー」では、本会の研究活動の成果と全国の実施研究の発表・協議を行っております。平成 3 0 年度 第 4 1 回大会まで対面で開催していたこの大会は、新型コロナウイルス感染症対策からオンラインを使った形式での大会に変更され、現在では、全国の方々により参加しやすく、年度末のお忙しい中でもより多くの方に御参加いただける大会としてオンラインを使用し開催を継承しております。
内容として、激動する社会変化を導き、将来を見据えながら互いの研鑽を深めてまいりたいと思っております。進路指導の一層の充実、キャリア教育の推進を図る研鑽の機会として、ふるって御参加くださいますようお願いいたします。

記

- 主 催 全国高等学校進路指導協議会
- 目 的 高校生を取り巻く進路は大きな変革の中にあります。この会は、大学入試改革・就職を取り巻く変化など、社会変化を正しく理解することを目的とします。また、各学校が取り組んでいる進路活動の実践発表を通し研究協議を行い、学校教育全体に一貫して展開されるキャリア教育のあり方について考えていくことを目的とします。
- 期 日 令和 8 年 3 月 2 7 日 (金)
- 形 式 オンライン開催
ウェブ会議システム (Cisco Webex のシステム利用)
- 参加対象 高等学校教職員および関係者、大学等教育機関関係者
- 定 員 1, 000 名
- 参 加 費 無料 ※大会要項の印刷は行いません。各自でデータをダウンロードしていただきます。
- 参 加 申 込 令和 7 年 12 月 17 日 (水) から **令和 8 年 3 月 1 0 日 (火) まで**に全高進 HP「各種申し込み」「進路学習セミナー申込」
【**認証キー**】

<http://www.zenkousin.net/>
- そ の 他

現在、進路学習セミナーは、年度末のお忙しい中でも参加しやすい大会となるよう、オンラインを利用した開催方法で実施しています。
全国の委員の多くの方々へ情報発信を行うべく、参加費などは徴収しません。
年度末で御多忙のこととは存じますが、ふるって御参加ください。

10 プログラム

3月27日 (金)

9:30 ~ 10:00	オンライン参加
10:00 ~ 10:10	● 開会式・挨拶
《進路学習の実践研究発表》	
10:10 ~ 11:00	● 研究発表① 『 県立 高等学校 』 【北信越】 先生
11:00 ~ 11:10	休 憩
11:10 ~ 12:00	● 研究発表② 『 広島県立大崎海星校高等学校 』 【中 国】 修平 先生
12:00 ~ 13:10	昼 休 憩
13:10 ~ 14:00	● 研究発表③ 『 山梨県立上野原高等学校 』 【関 東】 瑞穂 先生
14:00 ~ 14:10	休 憩
14:10 ~ 15:10	《全高進 就職指導研究委員会企画》 ● 講演 『 』
15:10 ~ 15:20	休 憩
15:20 ~ 16:20	《全高進 大学進学指導研究委員会企画》 ● 講演 『 』
16:20 ~	● 閉会式・挨拶

※ ご発表いただく方は、前日【3月26日(木)】にリハーサルを行います。

11 お問い合わせ

全国高等学校進路指導協議会
セミナー運営担当
松尾 拓也 (千葉県立大網高等学校)
Tel 0475 (72) 0003 (学校代表)
事務局 福本 剛史 (埼玉県立越谷総合技術高等学校)
Tel 048 (966) 4155 (学校代表)
全高進ホームページ <http://www.zenkousin.net/>

令和7年度 全国高等学校進路指導協議会事務局体制について

【敬称略】

事務局 長	福本 剛史（埼玉県立越谷総合技術高等学校）
事務局 次長	松尾 拓也（千葉県立大網高等学校）
幹 事	江本圭之介（埼玉県立三郷工業技術高等学校）
幹 事	長谷川恵美（埼玉県立浦和商业高等学校）
幹 事	町田 進一（埼玉県立熊谷商業高等学校）
幹 事	細矢 良太（埼玉県立越谷南高等学校）
幹 事	小出 和代（東京都立東久留米総合高等学校）
幹 事	多田早穂子（東京都立小台橋高等学校）
幹 事	桜井 伸一（東京都立晴海総合高等学校）
幹 事	竹田 大起（千葉県立千葉商業高等学校）

【各種行事等分担】

各種会議	吉田・松田・福本・松尾
全国高等学校進路指導研究協議大会	吉田・松田・福本・松尾
全国進学指導研究大会	福本・松尾
進路学習セミナー	福本・松尾・多田
新規高校卒業生就職問題連絡会議	江本・福本・町田・長谷川・竹田
進学調査分析	桜井・小出・細矢

【各種委員会】 ※ 現在、各委員に確認中です。

進学指導研究委員会 委員長（桜井）

桜井 伸一（東京都立晴海総合高等学校）	能 美 悟（神奈川県立新羽高等学校）
藤田 正彦（神奈川県立座間総合高等学校）	細矢 良太（埼玉県立越谷南高等学校）
事務担当委員	
小出 和代（東京都立東久留米総合高等学校）	

就職指導研究委員会 委員長（江本）

江本圭之介（埼玉県立三郷工業技術高等学校）	松尾 拓也（千葉県立大網高等学校）
竹田 大起（千葉県立千葉商業高等学校）	柿沼 浩二（埼玉県立妻沼高等学校）
黒田 健夫（神奈川県立上矢部高等学校）	並木 俊恭（神奈川県立希望ヶ丘高等学校）
浦部ひとみ（東京都立晴海総合高等学校）	長谷川恵美（埼玉県立浦和商业高等学校）
吉 岡 悟（埼玉県立川口工業高等学校）	
事務担当委員	
町田 進一（埼玉県立熊谷商業高等学校）	

進路学習研究委員会 委員長（多田）

多田早穂子（東京都立小台橋高等学校）	松尾 拓也（千葉県立大網高等学校）
桜井 伸一（東京都立晴海総合高等学校）	
事務担当委員	
長谷川恵美（埼玉県立浦和商业高等学校）	

【事務作業】

派遣依頼文書等作成・発送	福本
会議文書作成	福本・（提案者）
ホームページ運営・管理	福本・松尾
会計	福本
外部機関との連絡・調整等	吉田・福本

新規高等学校卒業生就職問題連絡会議開催について

令和6年度新規高等学校卒業生就職問題連絡会議開催要綱

1 目的

新規高等学校卒業生の就職をめぐる環境は、就職内定率や求人倍率は高水準で推移しているものの、希望の職種と現実の職種の隔たり、求人の地域間格差等多数の問題が存在している。こうした状況においては、職業安定機関と高等学校の連携をより密接にし、新規高等学校卒業生に対する職業指導、職業紹介を一層充実させていく必要がある。

このため、高等学校の進路指導担当者との意見交換を行う標記会議を開催し、職業安定機関と高等学校との連携の在り方等について検討し、今後の新規高等学校卒業生の職業紹介業務の円滑な運営に資することとする。

2 主催者 厚生労働省

3 日時 令和7年2月7日（金） 13:30～15:30

4 場所 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館 共用第6会議室（3階公園側）

5 連絡先 厚生労働省人材開発統括官 若年者・キャリア形成支援担当参事官室若年者就職援助係

6 議題

- (1) 令和6年度の新規高等学校卒業生に係る求人、求職、就職内定状況について
- (2) 新規高等学校卒業生の職業紹介業務に係る職業安定機関と高等学校の連携について
- (3) その他

7 出席者

各都道府県の高等学校進路指導担当者
文部科学省初等中等教育局児童生徒課
厚生労働省職業安定局労働市場情報整備推進企画室
厚生労働省人材開発統括官若年者・キャリア形成支援担当参事官室

【全高進】

会長・幹事・就職指導研究委員
各都道府県より代表者1名

※ 令和7年度の開催について、厚生労働省から、開催方法・参加者など検討依頼がありました。
例年と変更になる場合があります。わかり次第、連絡します。

※ 全高進からは、全国の就職に関する意見を取りまとめてこの場で報告しています。

新規高等学校卒業生就職問題連絡会議報告書について

報告書作成の流れ

アンケートの原案作成(全高進 就職委員会)	7～9月
アンケート項目の確認など(厚生労働省)	9～10月
アンケートの連絡(全高進→ブロック事務局)	10月

ブロック事務局からの都道府県事務局(理事)にアンケートの連絡
都道府県事務局から各学校へアンケート依頼
各校から都道府県事務局はアンケートを回収しまとめ
都道府県事務局からブロック事務局はアンケートを回収しまとめ
※各ブロック事務局はA4版3枚程度(質問項目を除く)にまとめて報告(常任理事会)
常任理事会での意見をうけ修正などしてブロック報告書の提出 (12月中旬)

全高進就職委員でブロック報告書を全国の報告書形式にまとめる (12月下旬)
全高進事務局・就職委員会で全国の意見のまとめ (1月初旬)
全高進事務局で報告書の最終まとめ、厚生労働省へ提出 (1月中旬)

進路指導・キャリア教育研究協議全国大会について

開催時期
7月下旬もしくは8月初旬に東京にて開催する

主催等について
公益財団法人 日本進路指導協会 が主催し、本会は共催として開催する。

各フロッグの役割
分科会の協議分野に沿った実践発表者を推薦する。

発表順		東京	北海道	九州	四国	中国	近畿	東海	北信越	関東	東北
令和3年度	第69回	4		2		4	6		2		6
令和4年度	第70回			2		4	6		2		6
令和5年度	第71回			2		4		2		6	4
令和6年度	第72回			4		6		2		6	4
令和7年度	第73回	4	6		2		6	4		2	
令和8年度	第74回	6		2		6	4		2		4
令和9年度	第75回			2		6	4		2		4
令和10年度	第76回	2		6		4		2		4	6
令和11年度	第74回		6	4		2		4		6	
令和12年度	第75回	6	4		2		4		6		2
令和13年度	第76回		4		2		4	6		2	6

※全高進から推薦を行う分科会
第2分科会…進路学習・キャリア教育の計画と実践（高）
第4分科会…大学・短期大学・専修学校など進学への指導・援助の在り方（高）
第6分科会…就職高等学校における就職などへの指導・援助の在り方（高）

平成17年度から		第1分科会（中）	学級活動・総合的な学習の時間における進路学習の計画と実践
	第2分科会（高）	ホームルーム活動・総合的な学習の時間における進路学習の計画と実践	
	第3分科会（中・高）	一人一人を生かす進路相談の計画と実践	
	第4分科会（中）	中学校における進学・就職への指導・援助の在り方	
	第5分科会（高）	大学・短期大学・専修学校など進学への指導・援助の在り方	
	第6分科会（小・中）	小・中学校における夢と希望を育てる指導の計画と実践	
	第7分科会（高）	高等学校における就職などへの指導・援助の在り方	
平成25年度	第3分科会を廃止		
	（HR・総学）	第2分科会「進路学習・キャリア教育の計画と実践」（高）	
	（進学）	第4分科会「大学・短期大学・専修学校など進学への指導・援助の在り方」（高）	
	（就職）	第6分科会「高等学校における就職などへの指導・援助の在り方」（高）	
平成30年度	第7分科会（小中学校分科会）を開設	第7分科会小中学校における夢と希望を育てる指導の計画と実践（小）	

順番：
※令和3年度から北海道フロッグと東京フロッグの順番を入れ替え以下の通りとする(令和2年度大会中止に伴い)
東京 → 北海道 → 九州 → 四国 → 中国 → 近畿 → 東海 → 北信越 → 関東 → 東北 →
全高進事務局から、主催の日本進路指導協会へは、毎年1月に連絡します。
各フロッグから12月の常任理事会までに全高進事務局までご連絡ください。

進路学習発表順について

(1)実施のねらい

- ① 高等学校における「総合的な探究の時間」等での進路学習の実践などについて研究討議を行う。
- ② 望ましい進路指導の在り方を議論し、全国の高等学校において進路指導の充実を図る。

(2)開催時期

3月末にオンライン形式で開催する

(3)各フロッグの役割

進路学習に関する研究を行う、実践発表校を発表順序に従って推薦する。

発表順(平成5年5月15日決定 平成6年12月3日改定)

	北海道	北信越	中国	関東	東京	近畿	九州	東北	東海	四国
令和5年度	第46回						○			
令和6年度	第47回	○						○		○
令和7年度	第48回		○	○	○					
令和8年度	第49回				○	○	○			
令和9年度	第50回							○		○
令和10年度	第51回	○	○	○						
令和11年度	第52回			○	○	○				
令和12年度	第53回						○	○	○	

※北海道フロッグは発表年度が決まっているため、順番の変更が不可能のため当初予定の令和2年度に発表
発表順【関東→東京→近畿→九州→東北→東海→四国→北海道→北信越→中国→】左の順に3フロッグずつ

全国進学指導研究大会について

(1)開催時期

開催フロッグおよび開催県で協議し決定する。開催日については、大会前年度の9月までに全高進事務局へ連絡する。

(2)その他

その他詳細は、全高進「全国進学指導研究大会概要」に準ずる。

	北海道	中国	北信越	四国	関東	近畿	九州	東海	東北
令和5年度	第29回	○							○
令和6年度	第30回	北海道							岩手県
令和7年度	第31回	○	山口県						
令和8年度	第32回		○	長野県					
令和9年度	第33回			○	徳島県				
令和10年度	第34回				○	栃木県			
令和11年度	第35回					○			
令和12年度	第36回						○		

開催順【関東→近畿→九州→東海→東北→北海道】

第47回進路学習セミナー・アンケート【集計結果】

令和7年3月27日(木) オンライン開催
進路学習セミナー参加者(オンライン参加クライアント数) 114人
(本部会場役員参加数) 15人

アンケート回答数

北海道	3件	福島県	1件	栃木県	1件	茨城県	1件	埼玉県	1件
静岡県	1件	奈良県	4件	和歌山県	1件	長崎県	1件	大分県	1件
									【合計 15件】

◆研究発表①【満足度】

『桜が丘スナズンダード～進路実現を目指して～進路指導標準化への取り組み』
福島県立磐城桜が丘高等学校 住吉圭介先生

5 (高い)	60.0%
4	33.3%
3	6.7%
2	0.0%
1 (低い)	0.0%

- ・進路指導計画の可視化と共有について本校でも取り入れていこうと思います。
- ・発表ありがとうございました。
- ・教育コースに興味を持ったが、高校時代から教員志望をかためる必要があるのかという疑問はある。
- ・進路希望者が多い中、進路指導はもちろん、キャリア教育もたいへん充実しているのは、年間計画の確立や進路指導部と研究研修部との連携がきちんとなされていることの証明になっているとお見受けしました。
- ・進路指導が学年の裁量によるところが大きいことは、本校でもしばしば混乱を招く要因となっています。
- ・何をいつまでにどのように」を可視化することの重要性を再認識しました。

◆研究発表②【満足度】

『進化し続けるキャリア教育をめざして～桑名版デュアルシステム～』
三重県立桑名工業高等学校 キャリア探究部 山田 篤史 先生 / 山本 崇 先生

5 (高い)	73.3%
4	20.0%
3	6.7%
2	0.0%
1 (低い)	0.0%

- ・同じ工業高校として、教育カリキュラムや進路行事のお取り組みがとても参考になりました。
- ・発表ありがとうございました。
- ・離職者数の少なさに驚いた。
- ・キャリア教育指導「デュアルシステム」をとおして、生徒の中には既に気付きや主体的な考えを持つことの大切さを理解している者がいました。その気付きや主体性は、将来社会人になったとき、大いに役立っていると思います。
- ・同じ工業高校として、発表の内容が非常に興味深かったです。128社のパートナーズ企業との渉外業務はご苦労も多いのではないかと思います。事前学習からフレイドバックまで一連の流れが素晴らしいと思いました。

◆研究発表③【満足度】

『「行ける」から「行きたい」へ～進路意識の転換に向けて～』
高知県立梶原高等学校 水田 知沙 先生

5 (高い)	46.7%
4	40.0%
3	6.7%
2	6.7%
1 (低い)	0.0%

- ・発表スライドのご共有をしていただけましたと幸いです。
- ・学校の現状をふまえた上で、進路指導部としての取り組みがなされており、その取り組みの成果を裏感されていると理解しました。日頃進路指導をする立場としてそうであるべきだと思います。
- ・地域の期待に応えようとする取り組みが興味深かったです。

◆研究発表④【満足度】

『本校における進路指導(就職)及び支援について』
北海道更別農業高等学校 増田 実加 先生

5 (高い)	40.0%
4	46.7%
3	6.7%
2	6.7%
1 (低い)	0.0%

- ・年度末のお忙しいところ、発表いただき大変お疲れ様でした。
- ・就労支援につきましても、今年度その件に関連した研修に参加する機会がございました。11月に行われている課題研究での進路学習において、新たな視点である「メンタルヘルスケア」についてお伝えされていることは新しい発見でした。
- ・農業関係のみならず多岐におわたる業種への就職活動の支援が参考になりました。

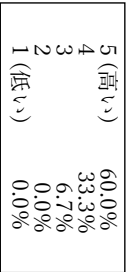
◆講演【満足度】

『体験活動とキャリア形成』
全国体験活動ボランティア活動総合推進センター
(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター内)
コーディネーター 山本 裕一 様

5 (高い)	60.0%
4	20.0%
3	20.0%
2	0.0%
1 (低い)	0.0%

- ・体験活動の有無が、子どもの成長や大人の教育意識にもつながっていくということを初めて知りました。
- ・ご講演ありがとうございました。"
- ・結論としては、体験が大事ということ、これまでの考えを補強してもらえた。高校生の頃に起業した学生の話があったが、これから進むべき方向なのかは疑問に残る。彼のバイタリティーには感服するか。
- ・昨年、本校卒業生から、大学卒業後、起業をして高校生の学習環境、学習スペースを確保した学習支援活動をすることを視野に入れて、その起業の報告を職員会議としてアンケートの依頼がありました。窓口は進路指導部である私が担当し、そのアンケート結果の報告を職員会議で先生方にし共有をはかりました。このことは講演の中にごさいました「一般社団法人 Teena Light」の設立、意義にも通じるのではないかと思います。質問になりましたが、本校卒業生の今後の参考にしてみらうために、その「法人概要資料(令和7年度地域貢献活動型サマーキャンパス事業)」の資料を提供することは可能でしょうか。
- ・「大学とは自分が立てた問いを探索する場」という言葉が非常に印象に残りました。大変面白かったです。

◆進路学習セミナーのオンライン開催について【満足度】



・オンラインで実施していただけるのはとても助かります。
運営・準備ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。”
各校 先生方のお話、実施内容に圧倒されました。もう一度振り返らないと消化できません。
ありがとうございました。
・2次募集の判定会議があり、適切な時間を変えてくださった皆様に感謝申し上げます。画面に出てきた視聴者数が50にも満たず、あまりにも少なくて驚きました。
本当はどれくらいあったのでしょうか。
・進路学習セミナーで発表された内容はそれぞれ各学校の実状をふまえたものであり、進路指導、キャリア教育にうまく活かされているものと感じました。教員のための進路指導研修の有意義な場とするためのご企画に感謝いたします。
・年度末の業務多忙の時期なのでオンラインで開催していただけるのはありがたいです。
・50分の発表ではなく、もし可能ならば、30分での発表はどうでしょうか？
（講演は80分ではなく、40分での講演はどうでしょうか？）
・丸1日ではなく、半日ですべてのプログラムが終了するのでは、と思いました。
・オンラインになったことで参加できるようになり、ありがたい。

◆全国高等学校進路指導協議会に対するご意見・ご要望

・来年度も楽しみにしております。誠にありがとうございました。
・離任式と職員室の移動日でセミナーを視聴できなかったのですが、貴重な資料をいただくことができ、次年度以降の進路指導の充実に活かすことができます。様々な取り組みをしている学校の発表に勇気づけられました。ありがとうございました。
・夏の進路指導キャリア教育研究協議会、秋の全国進路指導研究会、春の進路学習セミナーと各地の実践を学べる機会を設けていただいていることに感謝します。従来の流れを踏襲するのではなく、新たな観点から運営等を見直していただければと思います。お世話かけますか・・・
・先生方の発表、山本様のご講演の内容で新たな気づきを得ることができました。拝聴させていただきまして誠にありがとうございました。
・特徴のある取り組みをしている学校を探し出していただき、発表まで読得していただき、ありがとうございました。

令和6年度調査 大学・短期大学 総合型選抜および学校型推薦型選抜における事例の調査【総括】

質問 1 【令和7年度大学入学者選抜実施要項について（通知）】第4の4に逸脱した事例件数

- 1 入学願書受付を令和6年9月1日以降とする
（1）違反報告件数 … 5大学6件
（2）9月1日以前に出願締め切り期日を設定した事実は認められなかった … 5件
（3）事実確認ができなかった … 1件
2 判定結果を令和6年11月1日以降に発表する
（1）報告件数 … 37大学70件
（2）11月1日以前に最終合格発表をした事実は認められなかった … 6件
（3）11月1日以前に最終合格発表をしていたことが確認できた … 63件
（4）事実確認ができなかった … 1件

質問 2 【令和7年度大学入学者選抜実施要項について（通知）】第4の5に逸脱した事例件数

- 1 入学願書受付を令和6年11月1日以降とする
（1）違反報告件数 … 69大学77件
（2）11月1日以前に出願締め切り期日を設定した事実は認められなかった … 35件
（3）11月1日以前に出願締め切り期日を設定していた（事実が認められた） … 41件
（4）事実確認ができなかった … 1件
2 判定結果を令和6年11月1日以降に発表で一般選抜の試験期日の10日前までに発表する
（1）報告件数 … 62大学97件
（2）12月1日以前に合格発表をした事実は認められなかった … 29件
（3）12月1日以前に合格発表をしていたことが確認できた（事実が認められた） … 68件

質問 3 その他、今年度の入試（総合型選抜および学校型推薦型選抜）で問題になったことがありましたか。

報告件数 16件

回答校数175件					
内訳【北海道・東北	件、関東・東京・北信越	件】			
【東海・近畿・中国	件、四国・九州	件】			

※今年度回答者の属性を聞く質問を設定していないため詳細不明、次年度改善

大学・短期大学報告該当校数

※（ ）内の数は左から、総合型(出願)・総合型(発表日)・学校推薦型(出願)・学校推薦型(発表日)					
北海道(0, 0, 1, 1)	福島県(2, 2, 1, 3)				
栃木県(0, 0, 1, 1)	茨城県(0, 0, 2, 0)				
埼玉県(0, 1, 1, 3)	東京都(1, 3, 4, 3)				
神奈川県(1, 0, 0, 0)	新潟県(0, 0, 0, 1)				
山梨県(0, 1, 0, 0)	静岡県(0, 0, 3, 2)				
岐阜県(0, 0, 4, 0)	愛知県(0, 1, 9, 1)				
三重県(1, 1, 2, 3)	滋賀県(0, 1, 0, 3)				
京都府(0, 6, 7, 8)	大阪府(0, 13, 22, 17)				
兵庫県(0, 3, 8, 5)	奈良県(0, 4, 3, 4)				
岡山県(0, 0, 1, 5)	広島県(0, 0, 0, 1)				
福岡県(0, 1, 0, 1)					

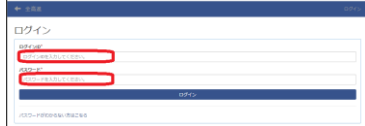
都道府県ホームページの管理

I 通常の操作

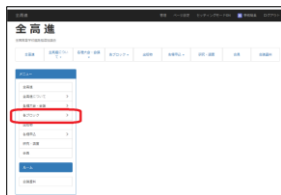
1 全高進ホームページのトップページの右上 ログイン



2 ログイン画面でIDとパスワードを入力 ログイン



3 右側のメニューから各ブロックを選択



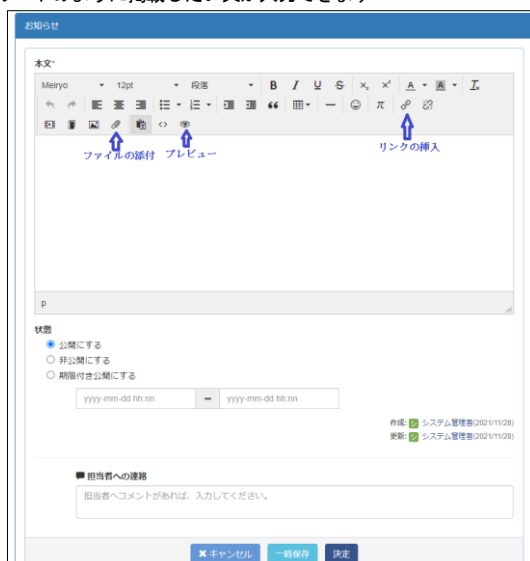
4 右側メニューの各ブロックから自分のブロック⇒都道府県を選択



5 お知らせから選択のタグを選ぶ



6 ワードのように掲載したい文が入力できます



※ 入力が終了したら決定

II 掲載する内容を増やす方法



※上記のようにカウンターなどのアイテム(プラグイン)が追加できます。
アンケートや参加申込(登録フォーム)などのプラグインも付け加えられます。

1 セッティングモードをONにする



2 プラグイン追加(センター)を選択



3 追加したいプラグインの横にある +追加 を選択



※ 最後に終了を忘れずに